

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第 53 号

特別展 道中日記～江戸時代の旅～

宮代町郷土資料館の今年の特別展は「道中日記～江戸時代の旅～」です。旅のルート図や観光地図、古文書、御札などを展示します。

道中日記とは旅行中に観光地や名所、名産、費用、気付いた事などを記した旅日記のことを言います。

宮代町にも道中日記は残されており、6名の旅人がいたことが分かっています。百間中島村の岩崎太右衛門と来孫（曾孫の孫）の文次郎、百間村（百間本村）の折原清次郎とその家族の清吉、須賀村（須賀新田）の戸田亀太郎、須賀村（下組）の渡辺惣七です。殊に惣七は4回の旅で道中日記を記しています。

ここでは、9つの道中日記の中から、弘化3年の折原清吉の草津温泉から羽黒山、松島をめぐる旅をご紹介します。

百間村（百間本村）の清吉は弘化3年（1846）6月18日から旅を開始しました。熊谷、高崎を経由し20日に伊香保温泉、22日に草津温泉に泊まったようです。伊香保温泉や草津温泉は湯治場として非常に有名で、伊勢神宮や熊野三社への参詣の帰りにも多くの人が温泉に立ち寄っています。

6月24日には善光寺を参詣し、25日には関



山宿の本陣である又左衛門宅に泊まりました。

本陣は大名や幕府の役人などが休憩や宿泊をするところで、一般客は泊めることができないと言われていました。しかし、この道中日記だけでなく、他の道中日記にも多くの人が本陣で宿泊していたことが確認できます。特別に料金が低いわけではありませんでした。

6月29日には如法寺に行き火の出る井戸を見ました。これは天然ガスによるものです。火の出る井戸は江戸時代から越後七不思議の1つと言われています。

7月3日には越後と出羽の国境の小国関所で出羽三山の1つ湯殿山参詣の切手をもらい、4日には羽黒山を参拝したようで羽黒山の塔頭（支院）の源性坊の案内で月山に向かいました。

源性坊はこの道中日記だけでなく、百間中島村の名主岩崎文次郎あての新春の挨拶状にも見られます。

7月11日には松島に行き瑞巖寺に拝観料13文を払い見学しました。12日には渡波から小舟に乗り金華山に行き、金華山神社や別当寺を参詣し護摩料として金1分半と銀2朱を支払った

ようです。

その後、百間村へ帰ることになります。通常の旅は農閑期である1月から3月にかけてのものが多のですが、この旅は6月から7月にかけてのものでした。これは出羽三山の山開きと関係があります。現在の出羽三山の山開きは新暦の7月1日からで、旧暦では6月にあたります。



弘化3年の折原清吉の草津温泉から羽黒山、松島をめぐる旅ルート図

「琵琶のしらべ」が開催されました。

平成 27 年 9 月 27 日（日）に、郷土資料館敷地内にある町指定文化財・旧加藤家住宅を舞台に、琵琶のしらべが開催されました。

演目は耳なし芳一・たけくらべ・五條橋の 3 つで、出演者は（琵琶）杉浦本信さん・（語り）田中佳志子さんのお二人でした。

資料館での琵琶の演奏会は久しぶりということもあり、多くの方が注目してくれました。

旧加藤家住宅の座敷では、琵琶の音が鳴り響いた途端に空気が変わり、幻想的な空間となりました。会場には座敷に座りきれないほど多くの、60 名をこえる方々がお越しになり、琵琶と語り



が生み出す幽玄なひとときを楽しんでいただきました。

演奏を聴かれた参加者からは、早くも次の開催を待ち望む声がでており、演目のリクエストをされる方もいました。

資料館では、来年の春ごろに第 2 弾の開催を予定しています。

今回、お聴きになれなかった方も、再びお聴きになりたい方も、是非お楽しみにしてください。（具体的な実施日及び演目などについては、未定です。）



東武鉄道 橋台の一部が資料館に



皆さんは、東武鉄道が姫宮落や笠原落などを越えるための橋をごらんになったことはありますか。

実は、町域にある鉄道橋の台の部分には、明治 32 年の開通以来使われているレンガの橋台が、今なお現役で使用されているところがあります。備前前堀、備前堀、姥ヶ谷落（2ヶ所）、笠原落、そして姫宮落です。現在、姫宮落の川幅を広げる工事が行われて

いますが、これに伴い、これまで使用されてきたレンガ橋台が撤去され、新しいものに交換されることになりました。

このレンガ橋台は、東武鉄道開通以来、使用されてきた貴重な資料であるとともに、レンガ自体が、深谷市上敷免にあった日本煉瓦製造株式会社で製造されたものであると思われ、町だけでなく埼玉県歴史においても貴重な資料です。

実際はもっと大きいものですが、一部分のみの受領となりました。旧齋藤家住宅母屋前の竹林のところに設置してあります。写真右側の一番大きなものが、実際の幅の約 1/3 くらいにカットされたもので、そのほかに刻印のあるレンガ、同じく刻印が見られるレンガのブロック、そして工事の際に中の構造を確認するために丸く繰り抜いた円筒状のブロックが寄贈されました。刻印とその意味など、わからない点も多いので、詳細に調査していきたいと思います。

次回の企画展は・・・

県立 川の博物館 巡回展

『地面の下をのぞいてみよう～埼玉の地下に潜む自然誌』

わたしたちの身のまわりの自然を見ると、どんなものが挙げられるでしょうか。森の草木、鳥、獣、昆虫、空……。自然を見ると、私たちはすぐに目にとまるもの、あるいは見上げた先に見えるものに注目してしまうことが多いですね。

けれども、私たちの足元に広がる地面も自然であり、地面の下にも自然は広がっているのです。そして地面の下には、自然と共に生きてきた人の歴史も埋もれています。

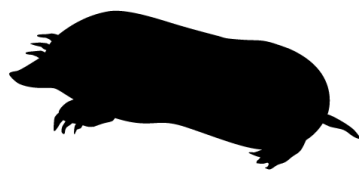
地面を観察すると、どんなものが見つかるでしょうか。夏に蟬が抜け出た穴や、モグラが通ったことを示すこんもりとした土の帯など、直接見ることができないような生き物たちの足跡が見つかることでしょう。

次回の企画展は、県立 川の博物館の巡回展として「地面の下をのぞいてみよう～埼玉の地下に潜む自然誌」を開催します。普段は目立たない地面の下の世界に注目し、そこに広がる自然を紹介します。

開催期間は、平成28年1月9日(土)から3月6日まで。
期間中の休館日は、1月12・18・25日、2月1・8・12・15・22・29日となります。

期間中、展示室の中にはトンネルが出現します。受付で貸し出されるライトを持って、地中探検を試みませんか。

皆様のお越しをお待ちしています。



資料館日誌抄

6月16日～ 須賀中学校2年生職場体験学習(2名)
17日
6月24日 平成27年度 第1回文化財保護委員会
6月24日～ 百間中学校2年生職場体験学習(3名)
26日
6月30日～ 杉戸中学校2年生職場体験学習(3名)
7月1日
7月4日 白岡歴史を語る会見学(15名)
7月10日 百間小学校1年生 西原自然の森校外活動(47名)
7月18日 企画展「宮代町60年のあゆみ」(10月25日まで)
7月19日 山崎子供会まが玉づくり職員派遣(10名)
7月28日 土器づくり教室(19名)
7月28～31日・8月4～7日・18～19日
博物館学芸員実習(1名)
7月29日 春日部市郷土資料館 学芸員実習生見学(4名)
7月29～30日・8月7・11・18～19・26・28日
夏休み体験教室 郷土資料館に行こう(110名)
8月1日 かやぶき民家できく昔話(20名)
8月7・11日 教員5年次研修(7名)
8月20日 逆井遺跡試掘調査
8月21日 土器焼き・火おこし体験他(19名)
8月26日 蓮田市文化財展示館 学芸員実習生見学(1名)

9月26日 みやしろ市民ガイドクラブ職員派遣(21名)
9月27日 演奏会「琵琶のしらべ」(60名)
9月30日 東条原宿屋敷遺跡試掘調査
10月12日 移築民家と「アトラシイ」ゲキ12(20名)
10月31日 特別展「道中日記 江戸時代の旅」
(12月27日まで)

資料館寄贈者名簿

(敬称略、順不同)

長谷川清一(史料)

高橋時男(書籍)

金子和生、金子とし恵(民具、書籍等)

宮代町郷土資料館だより えんがわ 53号

発行日 平成27年11月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>